

特集

在宅で褥瘡をつくらない

「在宅でつくってしまう」とも「病院でつくって帰ってくる」ともいわれる褥瘡。どちらも正しく、高齢になればどこで生活しようとするかと同じように、褥瘡もできやすくなります。褥瘡をつくらないために、できてしまった褥瘡を治療していくために、褥瘡の発生原因、必要な栄養管理について知り、介護職との連携、ケアの基本について、在宅で褥瘡予防を図るためのポイントを特集します。

褥瘡はなぜできてしまうのか——発生原因とケアの方法 徳永恵子

褥瘡ケアに必要な栄養管理 塚田邦夫

在宅での褥瘡ケアに欠かせない介護職との連携 名取芳子

褥瘡をつくらない食事づくり——短時間につくれる献立一週間 加藤チイ

どんな場合も褥瘡をつくらない「きらくな家」のケアの基本 中里貴江

■特別記事

インタビュー：CDRによる認知症の早期発見 目黒謙一大崎市田尻スキップセンター所長に聞く

在宅でがん性疼痛を緩和する 有賀悦子

百歳まで生きるための哲学 井上一馬

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア 山崎正人／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／わたしのことをわたしから 小宮山天経／ほんとの出会い 岡田真紀／訪問看護ステーションの現場をあるく 川越博美ほか／萌黄色のハンカチーフ 赤川次郎

編集後記

●重心の取り方がおかしいのか、雨の日によく足を滑らせます。安心して歩きたいと思い、“滑らない”と謳い文句のついた靴を購入しました。靴底に水を逃がす構造の溝が入っているため滑りにくいようなのですが、履いてみると確かにその通りで、その仕組みに感心しました。今号からの新連載「ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア」はプロダクトデザイナーの山崎正人先生によるものです。「デザインは問題解決学」であるとの文章がございましたが、あの靴もデザイン学で作られたのかとモノの見方がまた1つ加わりそうです。……………富岡

●昨年も今年も7号は介護職の行なう医行為についての特集です。迫田論文はサービスの質をはかるものさしについての気づきを、大坪論文はAEDと同じように市民が吸引を行なえるような社会の実現を、安達論文は介護職の行なう11項目について、局長通知の正しい理解を求めています。「ただ言われたとおりではなく、それをする」という意味を理解して行ないたい」という介護職のまっとうな思いを受け止めた安達さんは、それを吉野英先生をはじめとした講師陣につなげ、現在、介護研究会の第2回研修が進行中です。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第7号（通巻145号） 2008年7月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2008, Printed in Japan
1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめり予約購読料13,200円（年間12冊，消費税，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

【JCLS】＜（株）日本著作出版権管理システム委託出版物＞

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670，FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文【JCLS】」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。